



▲現在の津山文化センター。建築家の川島甲士は、「斗拱」という日本の伝統的な建築技法を大胆に取り入れた。(写真: CasaBRUTUS No.178 特集記事より抜粋)



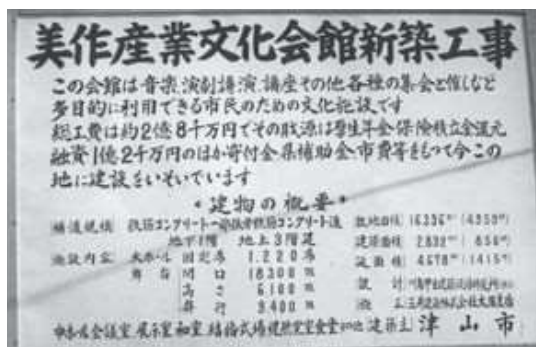
▲津山文化センターの場所には、大正時代、津山尋常高等小学校の校舎があった。(江見写真館所有)。戦後、津山第一小学校の校舎として使われていた。



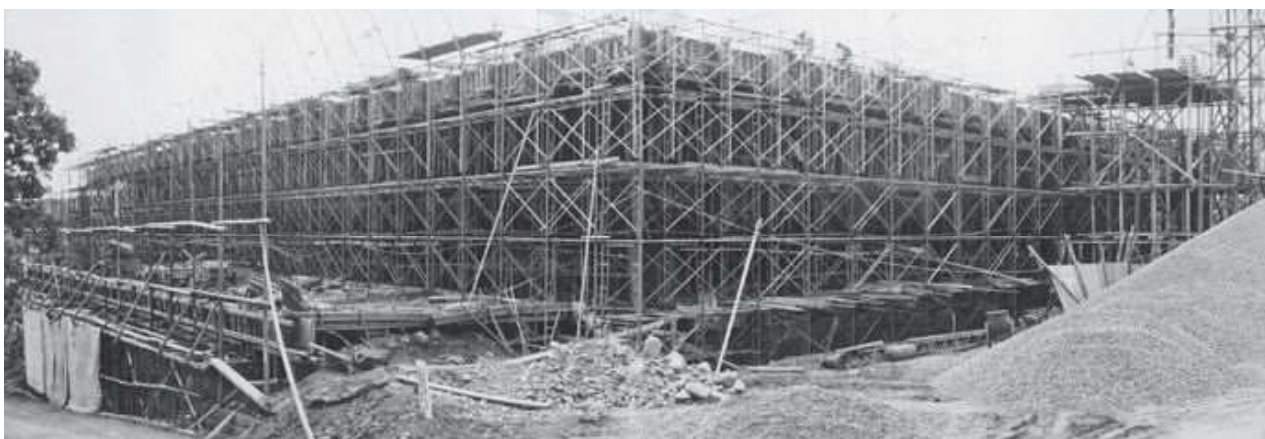
▲婦人協会による街頭募金風景。桜咲く鶴山公園入口(昭和33年4月)



▲津山文化センターは昭和39年10月14日、起工式を終え、いよいよ建設工事が始まった。



▲当時の建築PR看板。仮称は、美作産業文化会館だった。



▲建築中(昭和40年5月)